われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

女性部活動について研修すると共に「戦没した船と海員の資料館」を見学

平成22年度第一回県連盟女性部研修会

県遺族連盟女性部では十月十二日㈫、平成二十二年度第一回目の研修会を兵庫県神戸市方面で実施した。

研修会には県下各支部遺族連合会女性部長を中心に四十名が参加。午前九時にJR岡山駅西口をバスで出発した一行は、先ず車中において、日本遺族会女性部研修会（5月28、29日／九段会館で開催）の分科会で提出された意見並びに同幹事会（7月29日／九段会館で開催）で決定された〝平成二十三年度研修会における統一テーマ――①組織対策、②財政の確立、③女性部として相応しい事業、④日本遺族会への要望〟等について秀平女性部長が報告と説明を行い、参加部員との意見交換を行った。

午前十一時半過ぎ、瀬戸内海の青と六甲山の緑に囲まれた丘陵地に建立されている兵庫県神戸護國神社に到着。

久保田宮司さんの説明では、昭和二十年六月五日の神戸大空襲により社殿及び境内の建物は壊滅的な被害を受け、戦後も社号を兵庫御霊神社と改称せざるを得ないなど危機的な状況にあったが、県民各位のご努力により昭和二十七年に社号も復称、同三十二年に社務所、三十四年に新社殿も復興になり境内整備が進められていた。しかし、平成七年の阪神大震災で再び社務所が半壊するなど大被害にあったが、ご遺族崇敬者のご熱意により翌八年十一月までに無事修復に至ったとのこと。

参拝後、久保田宮司と共に（10月12日：兵庫県神戸護国神社）

五万三千余柱の戦没者ご英霊が眠られる本殿に、県下女性部員から寄せられた千羽鶴を奉納、護國神社のご奉仕をいただき正式参拝を行った。

そして、穏やかな神戸の海を望む神戸ハーバーランドで昼食後、全日本海員組合関西地方支部のビル内にある「戦没した船と海員の資料館」へ。

JR元町駅の南、中央区海岸通りにある資料館は、今から十年前の平成十二年八月十五日の終戦記念日に開設し、先の大戦において戦没した船舶と乗員の記録資料を集めた日本唯一の資料館として知られています。

戦没船（軍艦を含まない）約七千隻の出港から沈没した海域までの航海記録や写真が紹介されており、六人の研究員がボランティアで調査や案内を行っています。資料館には年間五千人を超える人たちが訪れ、遺族からは「戦死公報では凡そのことしか判らない。具体的な戦没場所を知りたい」という問い合わせがあるとのことです。

当日は、遠藤研究員らから資料館の概略や展示資料の説明をいただきましたが、事前の調査依頼は勿論のこと、当日の問い合わせについても速やか且つ丁寧に対応していただき、参加した女性部員も熱心に父の乗船した船舶名や沈没場所などの説明を受けていた。

日帰り研修は、天候にも一日恵まれ、午後六時前に岡山駅前に到着し終了した。

皇居内濠を望む静かな九段
ご婚礼／宴集会／ご宿泊／お食事／大ホール

※ご遺族様には、特別割引がございます。
●シングル……￥7,140～
●ツイン……￥12,600～（税込）

URL http://www.kudankaikan.or.jp

九段会館
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5
☎03(3261)5521
●地下鉄 東西線・新宿線・半蔵門線（九段下駅）徒歩1分
●JR東京駅より（車）5分

尾辻秀久参議院副議長は15日午前11時、衆議院議員及び参議院議員95人（本人41人、代理54人）がそろって靖國神社に参拝した。

参拝された衆・参両院議員の内訳（議員名は本紙1144号／８月１日号に掲載）は次のとおり。

党　派	本　人	代　理	計
自　民　党	24	46	70
民　主　党	11	3	14
みんなの党	1	0	1
たちあがれ日本	2	3	5
国民新党	1	0	1
無　所　属	2	2	4
合　計	41	54	95

（昨年は109名）

⑩　石原東京都知事、森田千葉県知事の靖國神社参拝

石原都知事は８月15日、靖國神社に赴き昇殿参拝を行った。石原都知事の靖國神社参拝は平成12年の都知事就任以来連続11回。

また、森田千葉県知事も８月15日、昨年に引き続き２度目となる昇殿参拝を行った。

⑪　菅改造内閣の発足

民主党は９月14日、菅代表（内閣総理大臣）と小沢前幹事長による民主党代表選挙を行い、菅代表が再選された。これに伴い、菅総理は９月17日に内閣改造を行い、同夜発足した。

⑵　石川県「白山市神社奉賛会出席訴訟」の最高裁判決

①　７月22日、最高裁第一小法廷（白木勇裁判長）は、平成17年秋に石川県白山市の市長が、地元の白山比咩神社で５日間に渡って斎行された「御鎮座二千百年式年大祭」の奉賛会発会式に出席して祝辞を述べたことが、憲法の定める政教分離原則に違反し、これに伴う運転職員の手当てなどの公金支出は違法であるとして、市長に対してその返還を求めた上告審判決で、白木裁判長は合憲と判断し、二審の違憲判決を破棄、住民側の請求を退けた。

②　一審の金沢地裁は、「津地鎮祭訴訟」で最高裁判決が提示した「目的効果基準」にのっとり、祝辞の表明は「社会的儀礼の範囲内の行為である」と判示し原告の請求を却けたが、二審の名古屋高裁金沢支部判決は、同じく「目的効果基準」に拠りながら「社会通念上儀礼の範囲を逸脱している」と全く逆の認識を示し、「憲法20条３項の禁止する宗教的活動に当たり許されない」と、一転して違憲と判断、公用車経費の一部２千円を支払うよう命じていた。

③　白木裁判長は判決で、本件発会式に「出席して祝辞を述べる行為が宗教との係わり合いを持つものであることは否定し難い」としつつも、「地元にとって本件神社は重要な観光資源としての側面を有していたものであり、本件大祭は観光上重要な行事であった」との基本的な認識を示し、その上で「地元の観光振興に尽力すべき立場」にある市長が祝辞を述べた行為は「市長としての社会的儀礼を尽くす目的で行われたものであり、宗教的色彩を帯びない儀礼的行為の範囲にとどまるものであって、特定の宗教に対する援助、助長、促進となるような効果を伴うものでなかった」と判示し、「憲法上の政教分離原則及びそれに基づく政教分離規定に違反するものではない」と結論づけた。

英霊顕彰並びに処遇改善運動
６月以降の経緯・今後の運動について

【英霊顕彰運動】

１．経緯について

⑴　内閣総理大臣等の靖國神社参拝

①　菅直人内閣総理大臣の誕生

６月２日、鳩山由紀夫総理（当時）は、民主党両院議員総会で、米軍の普天間飛行場移設問題や自らの「政治とカネ」の問題の責任をとり辞任を表明。民主党は緊急の役員会などを開催し、小沢一郎幹事長（当時）を含め執行部は総退陣した。

これを受け、６月４日、鳩山総理（当時）の退陣に伴う民主党代表選が行われ、菅副総理兼財務相（当時）と樽床衆院環境委員長（当時）の２人が立候補し、菅副総理兼財務相（当時）が民主党の新代表に選出された。

同日午後、衆参両院本会議の首班指名選挙で菅民主党代表が第94代内閣総理大臣に選出された。

②　６月15日、菅総理は参院本会議の各党代表質問に対する答弁で、靖國神社参拝について「個人的には何度も参拝したことはあるが、靖國神社にはＡ級戦犯が合祀されていることから、総理や閣僚の公式参拝には問題があると考えており総理在任中は参拝するつもりはない」と表明。

③　７月30日、日本遺族会の基本方針である「総理の靖國神社参拝」の実現化に向けて、菅内閣総理大臣宛に「内閣総理大臣の靖國神社への参拝のお願い書（本紙1144号／８月１日号に掲載）」を送付。

④　８月６日、岡田克也外相（当時）は記者会見で、東京裁判での所謂「Ａ級戦犯」が合祀されていることを理由に、終戦の日の８月15日に靖國神社に参拝しないことを明らかにした。また、「閣僚、特に外相が参拝するのは不適切だ」と述べ、他の閣僚の参拝も望ましくないとの認識を示す。

⑤　８月10日、菅総理は記者会見で、「総理在任中に靖國神社にお参りしないということは就任の時にも申し上げた。私の姿勢は明確に示しており理解されると思う」と主張。

また、仙谷由人官房長官も会見で「閣僚は公式参拝を自粛するのが従来の日本の政府の考え方だ」と述べる。

⑥　８月10日、菅総理と閣僚全員は、閣議後の記者会見で終戦の日の８月15日に靖國神社に参拝しない考えを表明。

⑦　８月15日の「戦没者を追悼し平和を記念する日」に菅総理や閣僚の靖國神社参拝はなかったが、自民党の谷垣禎一総裁は大島理森自民党幹事長（当時）らと共に靖國神社に参拝。また、安倍晋三元総理も同日参拝された。

閣僚の参拝者がゼロだったのは、記録が残る昭和55年以降30年間で初めてとなった。

⑧　８月15日、中国の国営新華社通信は、菅総理が全国戦没者追悼式でアジア諸国への加害責任などに言及した式辞を述べたことについて、「日本の首相、アジア諸国にお詫び」と東京発で速報。

中国共産党関係者は「鳩山前総理に続き、菅総理も靖國神社を参拝しないと明言したことは中日関係にとっていいことだ」とし、日本の歴史認識問題に対する民主党政権の態度を評価する姿勢を示した。

⑨　８月15日の「戦没者を追悼し平和を祈念する日」及びその前後における閣僚等の靖國神社参拝は次のとおり。

閣僚の参拝は無し。（昨年１閣僚）

「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」（会長・

秋季岡山県戦没者慰霊行事

十月五、六日の両日にわたり厳修

好天に恵まれた十月五日、岡山県護國神社において、岡山県戦没者顕彰会（岡﨑豊会長／県議会議長）主催により、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭が厳かに執り行われた。

慰霊祭には県下各地から戦没者ご遺族・一般参拝者ら約千五百人が参列、石井正弘岡山県知事をはじめ各界代表が神前に玉串を捧げ、明治から先の大戦にわたり国のため尊い命を捧げられた五万六千七百十四柱の御霊の冥福をお祈りすると共に世界平和実現をお誓いした。

また、翌六日には県護國神社秋季例大祭が執り行われ、約八百人が参列し、ご英霊を偲んだ。

県遺族連盟では〝すべてのご遺骨が還るまで遺骨収集は終わらない〟との方針のもと、両日の慰霊式典にあわせて「戦没者遺骨収集募金」を行い、参拝者から金六万五千二百十七円の温かい浄財が寄せられた。

このたびの慰霊行事に参列をいただいた各界代表の方々は次のとおりです。今後ともご英霊の顕彰と遺族援護にご支援を賜ります様お願い申し上げますと共に、早朝から参拝者接待、交通整理等、ご奉仕をいただきました皆様にあらためてお礼申し上げます。

（順不同・敬称略）

式典終了後、参列者に挨拶を行う
石井岡山県知事（10月5日）

▼岡山県知事
石井　正弘

▼岡山県議会議長
岡﨑　豊

▼国会議員
逢沢　一郎（代理）
村田　吉隆（代理）
加藤　勝信（代理）
阿部　俊子（代理）
平沼　赳夫（代理）
高井　崇志（代理）
片山虎之助（代理）
橋本　岳（前）

▼岡山県議会議員
戸室　敦雄
千田　博通
河本　勉
小田　圭一
佐藤　真治
波多　洋治
蜂谷　弘美

(3)　国立の戦没者追悼施設建設構想

①　8月10日、長妻昭厚生労働大臣（当時）は記者会見で、「今後、国立の広く参拝が可能な（追悼施設の）あり方を検討し、実現していくことが必要だ」と、新たな国立追悼施設の必要性に踏み込み、前向きな考えを示す。

②　8月14日、菅総理は靖國神社に代わる無宗教の国立追悼施設を建設する構想について、記者団に「党内外でもかなり議論がある。今すぐどうという結論ではなく、そういう議論のあり方を見ておきたい」と述べ、平成23年度予算案で施設設置に向けた調査費計上を見送る考えを示した。

2．今後の運動について

(1)　内閣総理大臣等の靖國神社参拝

関係諸団体と連携を密にし、真の保守政治に回帰するための世論喚起等の環境整備に努める。

(2)　国立の戦没者追悼施設建設阻止

菅内閣は平成23年度政府予算に建設のための調査費を計上しなかったが、今後、建設に向けて動きだすことも十分考えられることから、政府の動向を注視する必要がある。このため情報収集に努めるとともに、他団体と連携して建設に向けての動きがあれば、実力行使も辞さぬ覚悟で断固阻止する。

【処遇改善運動】

1．経緯について

(1)　日本遺族会は7月28日、厚生労働省社会・援護局、援護企画課長、総務省人事・恩給局を訪ね、平成23年度政府予算の概算要求に本会の要望事項が反映されるよう陳情を行った。

(2)　8月10日、政府は平成22年度の国家公務員一般職の給与について、月給を平均757円（0.19％）、期末・勤勉手当を0.2か月分（4.8％）引き下げるよう内閣と国会に勧告。

(3)　8月31日、各省庁より財務省に概算要求が提出された。厚生労働省の概算要求に計上された戦没者遺族に対する処遇改善項目等は本紙1145号／9月1日号に掲載のとおり。

2．今後の運動について

(1)　岡山県においては、11月28日㈰に岡山衛生会館で岡山県戦没者遺族代表者大会を開催し、来年度政府予算に計上された遺族処遇改善事項の周知と完全実現を訴える。

(2)　日本遺族会では、12月16日㈭に全国戦没者遺族大会を開催し、大会終了後、国会に赴き地元選出自民党所属国会議員に対し、遺族会の要望事項に対する理解と協力を要請する陳情運動を行う。また、12月までは処遇改善担当常務理事等で適宜適切な運動を行う。

▼岡山県市長会会長
高木　直矢（笠岡市／代理）

▼市町村長
栗山　康彦（浅口市）
大森　直徳（和気町）
山崎　親男（鏡野町）
花房　昭夫（奈義町）

▼岡山県町村会会長
重森　計己（吉備中央町）

▼市町村議会議長
河田　紘（鏡野町）

▼市町村議会議員
松島　重綱（岡山市）
和気　健（〃）
森田　卓司（〃）
小坂　四郎（奈義町）

▼岡山県神社庁庁長
笹井　和男（代理）

▼岡山県神社総代会
松田　堯

▼岡山市連合婦人会会長
佐藤　久子

▼山陽新聞社社会事業団
常務理事
矢吹　悦次

▼岡山県偕行会会長
高原　忠敏

遠藤　康洋
小倉　弘行
渡辺　吉幸
太田　正孝
江本　公一
中塚　周一

祝 百歳長寿達成

野間さん（元津山市婦人部長）ら 県下10支部遺族会で12人の皆様

県遺族連盟では老人福祉事業として、毎年「敬老の日」を中心に、めでたく百歳（本年は明治四十三年生まれ）の長寿を迎えられたご遺族の皆様に記念の品を贈り、長寿をお祝いしている。

本年は、県下十支部の遺族会で十二人の皆様が百歳の長寿を達成され、去る九月二十五・二十六日の二日間、岸本県遺族連盟会長及び事務局職員が、地元遺族会の役員と共にご自宅や入所施設を訪問、お祝い状と記念の品（祝布団セット）を贈り慶祝の意を表した。

更に、身寄りのない父母（父母特給受給者二人）、一人暮らしの妻（二百九人）の皆様には、同じく地元遺族会を通じて、慰問の品（タオルセット）を贈りお慰めした。

本年めでたく百歳の長寿を達成されましたご遺族は左記の皆様です。今後とも幾久しくお元気でお暮らし下さいますよう祈念いたします。

＊瀬戸内市牛窓町鹿忍
大熨知枝子さん（妻）
明治43年1月28日生

＊岡山市北区建部町角石谷
多児　貞子さん（妻）
明治43年2月18日生

＊高梁市巨瀬町
前岡　春子さん（妻）
明治43年2月24日生

＊岡山市東区古都南方
岡崎　栄さん（妻）
明治43年3月3日生

＊新見市土橋
藤井　こまさん（妻）
明治43年3月20日生

＊岡山市東区光津
高井ハツノさん（妻）
明治43年3月25日生

＊久米郡久米南町安ケ仏
両部　勉さん（兄）
明治43年5月13日生

＊瀬戸内市邑久町尾張
高原　都さん（妻）
明治43年7月10日生

＊美作市中谷
岡野志げよさん（妻）
明治43年8月1日生

＊倉敷市玉島乙島
原田たまゑさん（妻）
明治43年9月10日生

＊津山市川崎
野間　君子さん（妻）
明治43年12月20日生

＊備前市穂浪
大島　達江さん（妻）
明治43年12月30日生

秋の岡山陸軍墓地清掃

岡山市津高遺族会
副会長　**久山泰一**

岡山陸軍墓地の秋季彼岸祭を前にした九月十八日㈯、津高地区遺族会恒例の墓地清掃を実施しました。あいにく他の行事と重なり参加者はやや少なめでしたが、人見会長ほか二十六名の会員が参加いたしました。

午前八時、先ず、今日の平和の礎となられたご英霊の皆様に感謝と作業の安全を祈願。続いて、作業の段取りの打ち合わせを行い作業に取りかかりました。朝から既に日差しは強く、残暑とは名ばかり。皆さん汗びっしょりの酷暑の中、隣の人と顔を見合せて苦笑い。

参道の砂利に生えた雑草の抜き取り、雑木の枝打ちや生垣の剪定、墓標の汚れの原因となる自生の〝しゃしゃ木〟の掘り起こし、傾いた墓標の手直しなど色々な作業がありましたが、全員心一つにした作業の出来映えに皆、感心しきりでした。

五百十七柱の墓標に水を手向け、持ち寄った沢山の花木をお供えし、作業は昼を少し過ぎましたが無事完了。奉仕の喜び、心洗われる半日を過ごせたことに参加者一同感謝し、解散しました。

岡山市津高遺族会の皆さん
（９月18日：岡山陸軍基地）

遺族会の動き

平成二十二年十月行事表

1日　浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
2日　津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）

平成二十二年十一月行事表

1日　県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
3日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　橋本岳再起動の集い（倉敷アイビースクエア）
5日　新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
8日　倉敷市倉敷遺族連合会研修旅行（和歌山県方面）一泊
10日　新見市遺族連合会靖國神社参拝（茨城・栃木県方面）二泊
11日　瀬戸内市戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
12日　「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝（沖縄県）二泊
16日　井原市遺族連合会研修会（真備町・マービーふれあいC）
20日　笠岡市白石島地区戦没者慰霊祭（開龍寺）
24日　笠岡市大島地区戦没者慰霊祭（寄島・龍城院）
28日　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）
5日　県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
6日　県護國神社秋季慰霊大祭（県護國神社）
7日　岡山県総合社会福祉大会（岡山市民会館）
　　日遺支部事務局長・職員研修会（鹿児島県）一泊
8日　倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
12日　県連盟女性部平成22年度第一回研修会（神戸市内）
13日　笠岡市真鍋島地区戦没者慰霊祭（円福寺）
14日　新見市神郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
15日　新見市大佐地区戦没者追悼式（おおさ総合C）
18日　赤磐市戦没者遺族大会（くまやまふれあいC）
　　靖國神社秋季例大祭（靖國神社）20日まで
19日　千鳥ケ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭（東京・千鳥ケ淵戦没者墓苑）
　　笠岡市神島内地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
20日　新見市哲多地区戦没者慰霊祭（哲多総合C）
22日　新見市哲西地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日　笠岡市城見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
25日　笠岡市神島外地区戦没者慰霊祭（神島外忠魂碑）
26日　真庭市勝山支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
27日　笠岡市大井地区戦没者慰霊祭（大井公民館）
28日　新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
29日　英田郡西粟倉村戦没者慰霊祭（県護國神社）
30日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
31日　県連盟正副会長会議（県連盟会議室）
　　井原市井原支部遺族会研修旅行（奈良県）一泊
3日　笠岡市新山地区戦没者慰霊祭（新山忠魂碑）
5日　笠岡市北川地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
8日　久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　笠岡市今井地区戦没者慰霊祭（今井小学校体育館）
　　津山市高田地区戦没者慰霊祭（下横野・高田神社）